【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公表番号】特表2017-500467(P2017-500467A)
【公表日】平成29年1月5日(2017.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-001
【出願番号】特願2016-521359(P2016-521359)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｄ　25/18　(2006.01)
Ｆ０２Ｃ　7/06　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　25/20　(2006.01)
Ｆ０２Ｃ　3/107　(2006.01)
Ｆ０２Ｋ　3/072　(2006.01)
Ｆ０２Ｃ　7/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　25/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｄ　25/18　Ａ
Ｆ０２Ｃ　7/06　Ｚ
Ｆ０１Ｄ　25/20　Ｂ
Ｆ０２Ｃ　3/107
Ｆ０２Ｋ　3/072
Ｆ０２Ｃ　7/00　Ｃ
Ｆ０１Ｄ　25/00　Ｌ
Ｆ０１Ｄ　25/00　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成30年1月17日(2018.1.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
固定ケーシングとタービンエンジンの減速装置とである互いに対して回転する２つの基準フレーム間の送油装置において、前記送油装置が、
２つの同心の外側リング（２２）および内側リング（２３）であって、一方のリングは一方の基準フレームから出る給油管に接続され、他方のリングは他方の基準フレームに接続され、油が前記外側リングと前記内側リングとの間を循環する、２つの同心の外側リング（２２）および内側リング（２３）と、
前記外側リングと前記内側リングとの間で２つの基準フレームを変化させるための前記外側リングと前記内側リングとの間の軸受（２５）とを備え、
前記送油装置が、前記外側リングおよび前記内側リングのうちの第１のリングと中間リング（４１）との間に配設されたダンパを形成する可撓性手段（３１）をさらに備え、前記中間リング（４１）が、前記軸受（２５）によって前記外側リングおよび前記内側リングのうちの第２のリングから離間され、前記可撓性手段（３１）が、油が２つの基準フレーム間を通過する変形可能な密閉チャンバ（３２）を画定することを特徴とする、送油装置。
【請求項２】

油を循環させるために、外側リング、中間リング、および内側リングに、連通穴（３４、４３、３９）が設けられる、請求項１に記載の送油装置。
【請求項３】
外側リング（２２）および内側リング（２３）に設けられた連通穴（３４、３９）が、送油装置によって２つの基準フレーム間で全体に送油ができるように構成される、請求項２に記載の送油装置。
【請求項４】
軸受（２５）が、前記連通穴が設けられた前記第２のリングの部品と中間リングの部品と共に、２つの基準フレーム間で油が通過する空間（４４）を画定するように配置される、請求項２または３に記載の送油装置。
【請求項５】
ダンパを形成する可撓性手段（３１）が、中間リング（４１）と前記第１のリングとの間を周囲で密閉するように固定された２つの半径方向環状フランジ（４５）を備え、前記変形可能な密閉チャンバ（３２）は、対応する半径方向環状フランジとリングとによって画定される、請求項１または２に記載の送油装置。
【請求項６】
ダンパを形成する可撓性手段（３１）が、中間リングと前記第１のリングとの間に固定する形で取り付けられる可撓性環状エンクロージャの形態であり、前記変形可能な密閉チャンバは可撓性環状エンクロージャによって画定される、請求項１または２に記載の送油装置。
【請求項７】
給油管に接続されたリングが接続される基準フレームが、固定され、かつタービンエンジンの固定ケーシングに接続され、他方の基準フレームが、回転し、かつ減速装置に接続される、請求項１または２に記載の送油装置。
【請求項８】
同心の固定リングおよび回転リングが、それぞれ外側リングおよび内側リングである、請求項１または２に記載の送油装置。
【請求項９】
可撓性手段（３１）が、弾性変形および密閉を与える材料から作られる、請求項１または２に記載の送油装置。
【請求項１０】
弾性変形および密閉を与える材料が、合成樹脂材料、天然樹脂材料、エラストマー、金属、および複合材料の１つから選択される、請求項９に記載の送油装置。
【請求項１１】
弾性変形および密閉を与える材料が、ポリマーである、請求項９に記載の送油装置。
【請求項１２】
航空機用のタービンエンジンであって、ガス発生器部分（Ｇ）と、推進部分（Ｐ）とを備え、前記推進部分（Ｐ）が、ガス発生器部分のタービンに接続され、かつ請求項１から１１のいずれか一項に記載された送油装置（２０）によって潤滑される差動減速装置（１１）によって回転される、１組の二重反転する同軸の上流側および下流側プロペラ（２、３）を備える、タービンエンジン。